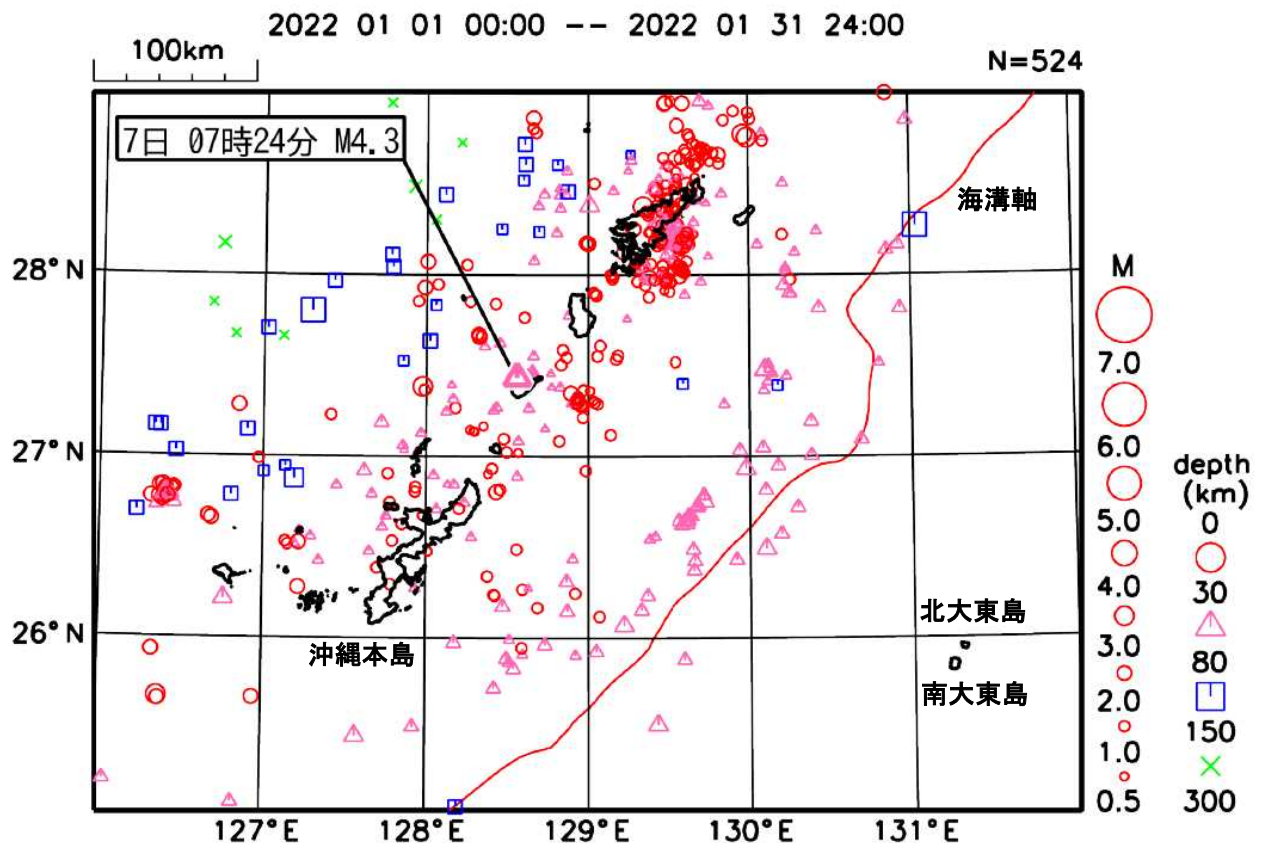


# 大東島地方の地震活動

2022年1月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ  
N : 地震回数 (マグニチュード0.5以上の回数です)  
沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

### [ 概 況 ]

1月に、大東島地方で震度1以上を観測した地震はありませんでした(12月もなし)。なお、沖縄本島地方では1回観測しました(12月は3回)。

15日13時頃(日本時間)にトンガ諸島のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、全国各地で潮位変化を観測しました。なお、南大東漁港では、13cm(暫定値)の潮位変化がありました(15日13時頃のトンガ諸島付近の火山噴火による沖縄県内の潮位変化の観測値(暫定値)を参照)。

※沖縄地方(沖縄県)の地震については、沖縄気象台作成の「沖縄地方の地震活動」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

※震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

**大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2022年1月1日～31日）**

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2022年01月07日07時24分	沖縄本島近海	27° 26.1' N	128° 33.5' E	49km	M4.3
沖縄県	震度 1：国頭村奥, 国頭村辺土名*				
鹿児島県	震度 3：天城町平土野*, 知名町瀬利覚				
	震度 2：伊仙町伊仙*, 和泊町国頭, 知名町知名*, 与論町茶花*				
	震度 1：瀬戸内町加計呂麻島*, 瀬戸内町与路島*, 徳之島町亀津*, 天城町当部 与論町麦屋				

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※大東島地方及び沖縄本島地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

**15日13時頃のトンガ諸島付近の火山噴火による沖縄県内の潮位変化の観測値（暫定値）**

観測点	第1波到達時刻	最大波時刻	最大の高さ (cm)
那覇	(識別不能)	15日23時33分	28
国) 南城市安座真	15日20時39分	15日23時35分	27
港) 沖縄市中城湾港	15日20時47分	15日23時36分	25
南大東漁港	15日20時--分	15日23時11分	13
港) 宮古島平良	15日21時04分	16日00時04分	35
石垣島石垣港	15日20時42分	16日00時02分	20
与那国島久部良	(識別不能)	16日03時05分	19

・国)は国土地理院の観測点、港)は国土交通省港湾局の観測点、無印は気象庁の観測点です。

**※資料中のデータについて**

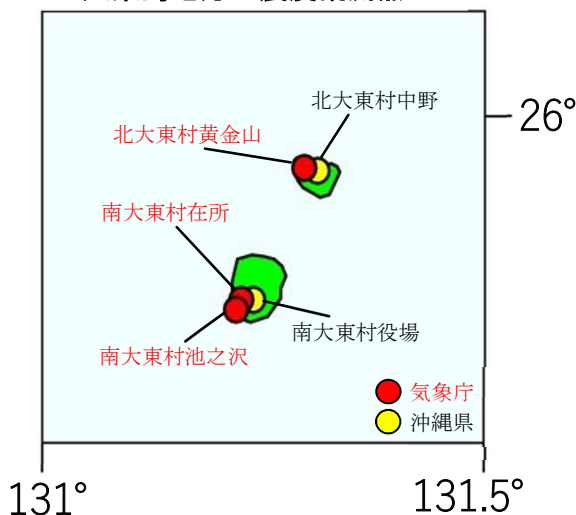
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究会（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

**※概況中の震源の深さについて**

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。

**大東島地方の震度観測点**





**気象庁 南大東島地方気象台**  
Japan Meteorological Agency Minamidaitoujima Local Meteorological Office

本件に関するお問い合わせ先  
電話: 09802-2-2006  
ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/daitou/>

# 気象庁が発表する津波警報・注意報 ～津波から命を守るために～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区\*単位で発表します。津波警報等の種類、発表される津波の高さ及び取るべき行動を以下の表に示します。

種類	発表される津波の高さ		取るべき行動
	数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<予想高さ≤10m)		
	5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	
津波注意報	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

## ★津波警報・注意報と避難のポイント！

- ・震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。

※津波予報区：全国を66区域に分けており、沖縄県は「沖縄本島地方」、「大東島地方」、「宮古島・八重山地方」の3区域となっています。



地震に関する情報は  
沖縄気象台ホームページまで  
<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

Q 検索



